

BASF とアジア地域における包括エンジニアリングパートナー契約を締結

平成 31 年 4 月 18 日
東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社(Toyo-Japan、取締役社長 永松 治夫)と Toyo Engineering Corporation (China) (Toyo-China、社長 Dong Benli) は、BASF 社と包括エンジニアリングパートナー契約を締結しました。本契約は今後 5 年間 BASF のアジア・太平洋地域でのプロジェクトに対し、フロントエンドエンジニアリング、詳細設計、調達サービス、工事管理等のサービスを提供するものです。

2013 年に始まった両社のパートナー契約はこれまでに更新を重ねてきており、今回の契約は今後の BASF による投資案件を見据えたパートナーシップの更なる強化を目的に契約書の全面改定を行いました。2013 年の契約締結以来、東洋エンジニアリング・グループ (TOYO) はインド、マレーシア、中国、日本での高品質、かつ顧客志向のサービスを提供し、BASF のアジア投資へ貢献し続けてきました。これらのプロジェクトを通じて培われた信頼関係と、高い技術力への評価を受けたことが今回の契約に繋がりました。

契約調印式では、BASF 社 Hugues Vandenmersch 氏 (Senior Vice President, BASF Engineering & Technical Expertise Asia Pacific) より、「我々は TOYO との戦略的パートナーシップを非常に意義のあるものと捉えている。BASF は 2018 年にアジア太平洋地域での意欲的な投資計画を発表した。TOYO とのパートナーシップも今回の改定で新たな局面に突入したと言える。我々 BASF と TOYO がこれまで築き上げてきた堅固な協力関係により、今後の大型投資案件も成功させることができると確信している」との言葉をいただきました。

TOYO は Toyo-China、Toyo-India、Toyo-Malaysia、Toyo-Korea、IKPT(インドネシアの子会社)、テックプロジェクトサービスといったグローバルネットワークの強みを生かし、BASF 社のアジア太平洋地域における投資案件に、価格競争力を兼ね備えた革新的なソリューションを提供します。

契約概要

- 客先 : BASF (China) Company Limited
- 契約者 : 東洋エンジニアリング株式会社(Toyo-Japan)、Toyo Engineering Corporation (China) (Toyo-China)
- 役務内容 : アジア地域におけるフロントエンドエンジニアリング、詳細設計、調達サービス、工事管理等に関する包括エンジニアリングパートナー契約 (期間 : 5 年間)

<お問い合わせ先>

広報・IR 室 [担当 : 飯田、深沢] TEL : 047-454-1113